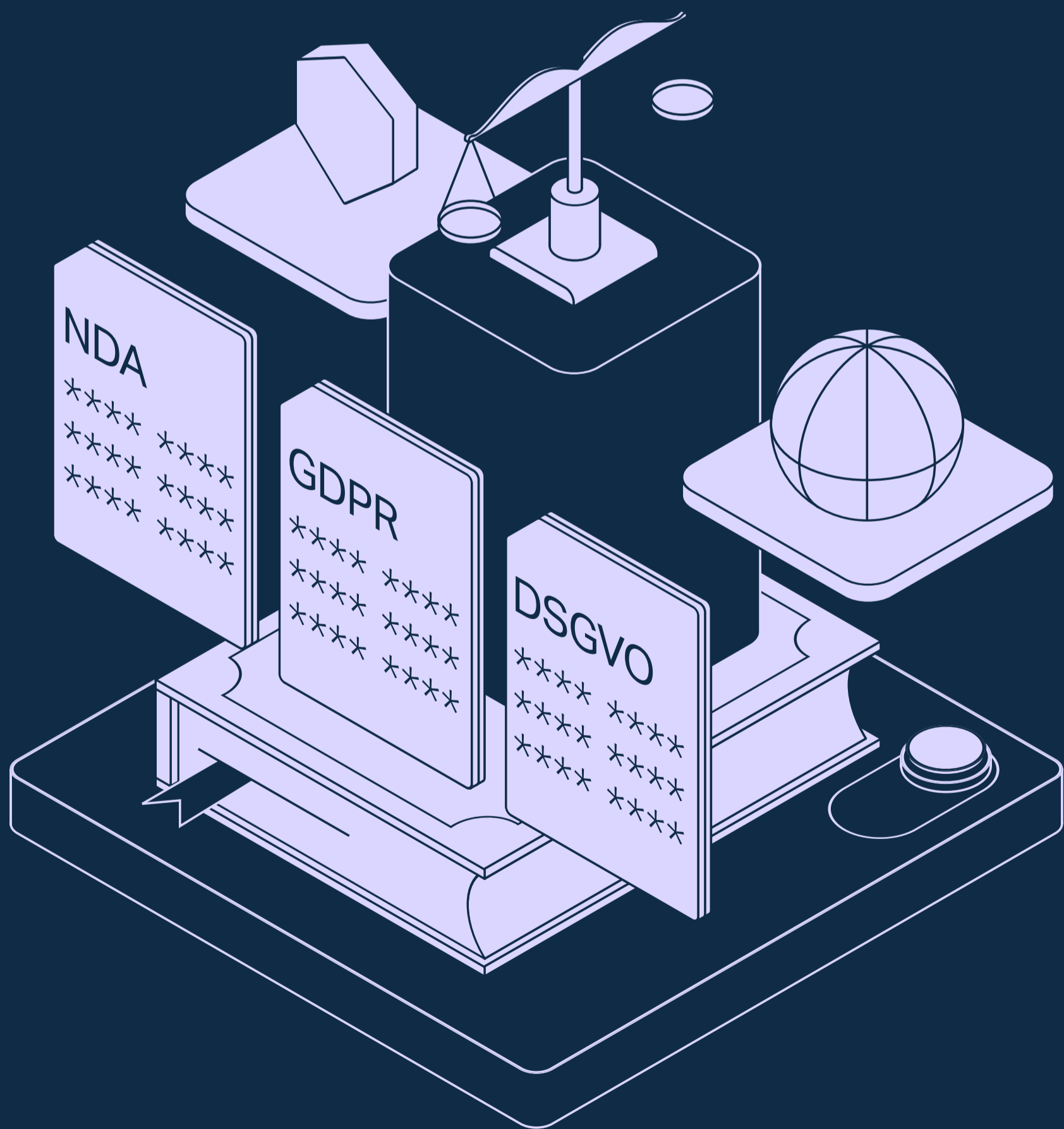


レポート

AIと法律業界： 国際化戦略を成功 させるための鍵

2025年法務における
AI活用の見通し



「昨今、人工知能（AI）が各業界で広く採用されるようになりましたが、法律の分野も例外ではありません。コスト削減、コラボレーションの強化、サービスの品質向上など、AIがもたらす潜在的なメリットがますます鮮明になっており、AIが法律事務所に競争優位性を与えることが明らかになりました。法律事務所はAIを利用して調査の質を高め、国際的なクライアントからの増大する需要に対応することで、競合他社がひしめく市場で抜きん出ることが可能になります。また企業の法務チームも効率化のためにAIを活用しています。

私は、キャリアを通じて法律分野におけるテクノロジーの驚異的な進化を目の当たりにしてきました。かつては手作業で時間がかかっていたことも、AIを使うことで、はるかに効率的に行えるようになりました。しかし、こうした魅力的な最新技術はコンプライアンスとセキュリティの面で新たな問題を生んでいます。法律の専門家は、これまで以上に技術と責任のバランスを取る必要に迫られています。

本レポートでは法律業界におけるAIの利用拡大について検証するほか、AIを搭載したコミュニケーションツールの役割や、ビジネスに大きなインパクトを与える可能性があるAI技術を紹介します。また、AI技術を評価するための指針および、急速に進化するAIの活用に関して法務チームが意思決定を行うのに必要な情報を提供します」



DeepL
最高法務責任者
フランキー・ウィリアムズ

目次

要旨	法律業界におけるAIの試験的導入から 費用対効果まで	4
第1章	AIとグローバル化する法務	6
第2章	法律業界とAIを活用した コミュニケーション	13
第3章	言語に特化した6つの優れたAI技術	25
第4章	要約	30

要旨

法律業界におけるAIの試験的導入から費用対効果まで

AIの台頭は法律業界に大きなチャンスをもたらしています。コストの削減やコラボレーションの改善、より質の高いサービスの提供など、様々な領域でAIはグローバル市場を変革する重大な原動力となりつつあります。これは法律事務所にとっては競争力の強化、企業内法務チームにとっては効率化を促進するものです。

一方で、より広範なユーザーの間ではAIの見直しも進行中です。企業は、AIへの投資から費用対効果を得るのに予想以上の時間がかかることを認識し始め、時間をかけて現実的なリターンを得る方向へとシフトしています。Forresterによれば、米国企業のAIに関する意思決定者のうち、49%がAI投資からROI（投資収益）を得られるまでの年数を1～3年以内と見込んでおり、44%は3～5年以内と予測しています¹。

現在、AI投資に対する予算は増加傾向にありますが、投資する際、企業の経営陣は持続可能なリターンをもたらす安全なユースケースを見出す必要があります。

ゴールドマン・サックスは、将来、法務業務の44%がAIによって自動化される可能性がある²と予測し、PwCはCEOの77%がセキュリティ侵害を懸念していると明らかにしています³。法律業界は一刻も早くAIの最適な活用方法を見つけなくてはなりません。

2025年、法律事務所はAIを戦略的に活用し自らの競争優位性を維持すると同時に、変化の激しい環境において顧客を的確に導く必要があります。

その両方を実現できる事務所が今後最も成功するでしょう。

¹ Forrester "Predictions 2025: Artificial Intelligence," 2024年9月9日

² AIMultiple "Generative AI Legal Use Cases & Examples," 2024年1月3日

³ PwC "US CEO views from PwC's 27th Annual Global CEO Survey," 2024年1月15日

TaylorWessing

「AIやテクノロジーを駆使したソリューションは、グローバルに事業を展開する企業にチャンスと課題の両方をもたらします。片方で、このような技術は機械的な業務の自動化、効率性の向上、そしてより迅速で正確な意思決定を可能にします。しかし他方では、これらの技術を導入することで、企業はデータ保護、セキュリティ、倫理的配慮に関する重要な問題に向き合うこととなります。

国際弁護士としての私たちの責務は、この複雑な環境に対応するクライアントを助け、クライアントのAI技術の利用が拠点地の法律や規則、倫理基準に則っているか確認することです。

そうすることで、企業がAI技術の利点を最大限に生かすと同時にリスクを最小限に抑えるのを助け、グローバル展開という目標達成を支援することができるようになります」



TaylorWessing (DeepLのお客様)
パートナー
Axel Frhr. von dem Bussche博士
法学修士 (L.S.E.)、CIPP/E

第1章

AIとグローバル化する 法務

「これは、将来に向けて法律業界のあり方を変える千載一遇のチャンスとなります」



PwCドイツ
グローバル税務・法務マネージドサービスパートナー /
アライアンスリーダー

Klaus Schmidt氏

1.1

AIとグローバル化する法務

法律の分野では、この数十年の間にグローバル化がさらに進みました。かつて棲み分けのできていた市場も、法律事務所などの活動範囲が重複するようになり競争が激化しています。

「かつて、法律事務所の業務範囲は所属人員の技能や管轄地域の言語によって限定されてきました。それが突然、全世界で事業を展開できる可能性が出てきたのです。これは大きなチャンスとなります。GDPRのような世界の多くの国を対象とする法律は今後も増えるでしょう。この変化は法律分野における競争を根本的に変えるもので、機会とリスクの両方をもたらします。この流れは、波に乗れる側にとっては大きなチャンス、出遅れる側にとっては脅威となるでしょう。法務業界だけでなく、私たちのクライアントが属するビジネス界にも変化を起すと予想されます」

Taylor Wessing (DeepLのお客様) パートナー
Axel Frhr. von dem Bussche博士
法学修士 (L.S.E.)、CIPP/E

クライアントの国際的な事業展開に対し助言を行う法律事務所は、様々な司法管区についての豊富な知識が要求されます。多言語に堪能で複数国の資格を持つ弁護士も存在しますが、多くの事務所は海外事務所を設立したり、海外の法律事務所と提携したりする必要に迫られています。

そのため、国際弁護士は日々の業務で複数の言語や文化に対応するようになりました。多くの多国籍企業は、グローバルな顧客基盤を持ち、急速に進化するインターネット規制の影響を受けるため、国際的な法的助言を必要としています。EUにおけるGDPRのような規制は他国にも波及する可能性があり、国境を越えて事業を展開する企業にとってコンプライアンス上の課題につながります。

法律分野のグローバル化が加速する中、複数の国にまたがる専門知識に基づき助言できる事務所は今後も大きな報酬を得ることができるでしょう。

1.2

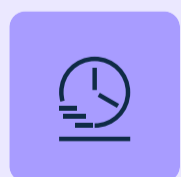
「AIは進展が非常に速いため、まず変化に対応し、後から規制することになります」



効率化とイノベーションを推進するため、企業はAI技術を目まぐるしいスピードで導入しており、これは、法律専門職とその顧客の職域にも大きな変化をもたらしています。

フォーブス誌は、AI技術を規制する法律部門の責任を強調しており、「ビジネスや社会に与える影響が主として有益なものとなるよう、守るべき基準を作らなくてはならない」と指摘し、さらに次のように述べています。「AIツールの登場によって新たな法の領域が生まれ、弁護士はその形成に関わる機会に恵まれるかもしれません。しかしそれには、AIツールの利点と潜在的な弊害を理解する必要があります。すでに、例えば生成系AIの登場によって知的財産権 (IP) 分野では多くの問題が生じています。これは法務機関にとっての課題であり、チャンスでもあります」⁴

安全でないAIツールの広範な使用は、コンプライアンス違反、名誉毀損訴訟、著作権問題、サイバー犯罪者による攻撃などを引き起こしています⁵。世界中の国や組織がAIガバナンスの法律や政策の策定および実施に取り組んでいますが、AIを規制する最初の試みは欧州連合のAI法が主導しています⁶。



⁴ Forbes "Legal Market Change Is Gradual; A Paradigm Shift Will Be Sudden," 2023年3月16日

⁵ ABA Journal "What Cybersecurity Threats Do Generative AI Chatbots like ChatGPT Pose to Lawyers?," 2023年6月21日

⁶ European Parliament "Artificial intelligence act," 2024年その他の管轄区域の概要については、IAPP Research and Insights. "Global AI Law and Policy Tracker," 2024年1月"を参照。

しかし、技術の進化は法律が追いつくのを待ってはくれません。Axel Frhr. von Dem Bussche 博士は「AIは進展が非常に速いため、まず変化に対応し、後から規制することになります」と指摘し、さらに次のように述べます。

「人工知能とテクノロジーが進化を続け、さまざまな業界に浸透するにつれ、その利用を管理する規制や法律の必要が高まります。この点において、個人、企業、社会全体の権利と利益を保護するために、国内および国際レベルでのAI法整備がすでに始まっています。国際弁護士は、このような動向を常に把握し、クライアントが法や規則を遵守できるよう支援しなければなりません。これは、法的責任を問われないよう企業をサポートするだけでなく、AIの利用に対する社会的信頼を構築することにもつながります」



クライアントのために、弁護士は一刻も早くAIに関する十分な知識を持つ専門家とならなくてはなりません。しかし同時に、自分たち自身が、どのような理由でいかにAIツールを導入すべきかも考える必要があります。最も重要なことは、法律事務所が弁護士と依頼者の間の秘匿特権を尊重し、事務所へのAI導入によって機密性を危険にさらすようなことがないようにすることです。

以降では、法律実務におけるAI活用の潜在的なメリットとリスクについてさらに見ていきましょう。

法律業界がAIを導入すべき理由

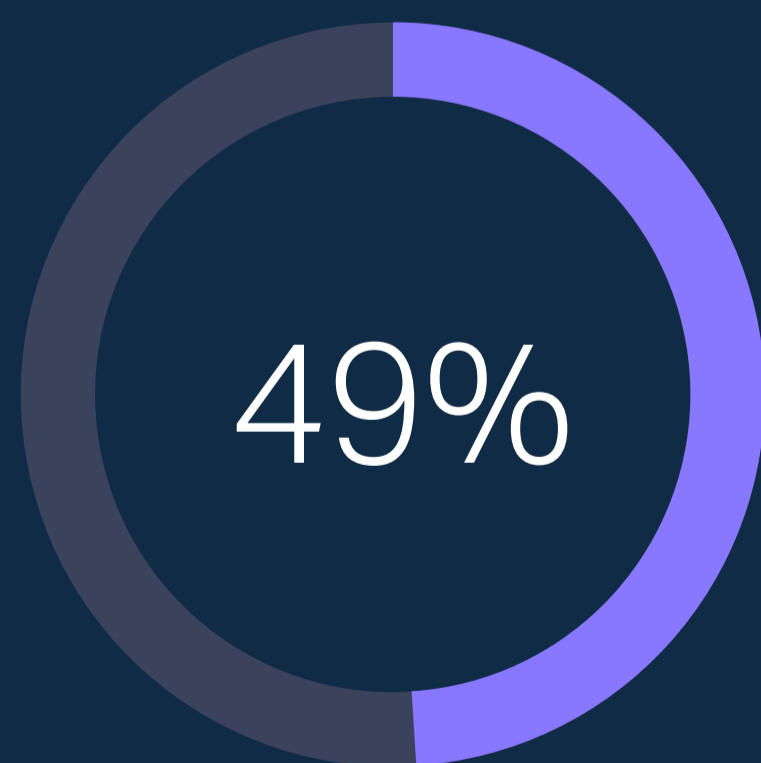
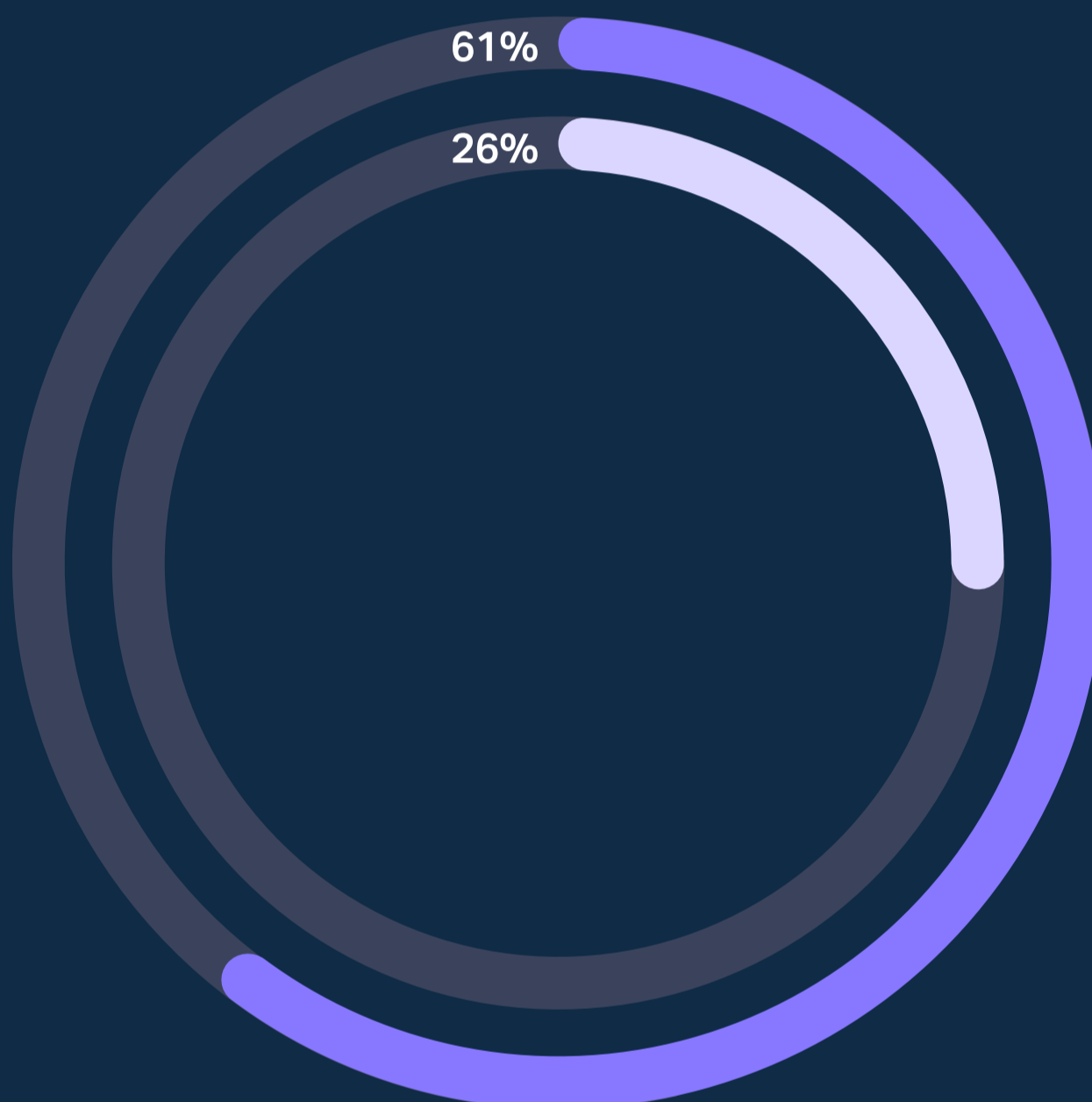
法律分野ではすでに変化が起きている。

61%

61%の弁護士がAIを利用したことがある、または利用する計画があると回答⁷

26%

26%の弁護士が2024年1月時点でAIを定期的に使用していると回答。この割合は6か月前の11%から増加⁸



AIに対する法律事務所の需要が減速する兆しはありません。

49%

49%の企業内弁護士が、仕事を依頼している法律事務所が今後1年以内にAIを活用するようになると予想⁷

⁷ LexisNexis "Integrating generative AI in legal settings," 2024年8月7日

⁸ LexisNexis "The potential of AI for lawyers from academic institutions," 2024年4月11日

法律業界がAIを 導入すべき理由

AIは法律業界に目に見える効果をもたらしています。

70%

プロの翻訳チームに依頼する文書数を
70%削減 (DeepLを使用したEUの大手
法律サービス企業⁹)

87%

87%の法律業界のユーザーが、DeepL
が作業の効率化に役立っていると回答

88% 日米のユーザー

85% ドイツのユーザー¹⁰

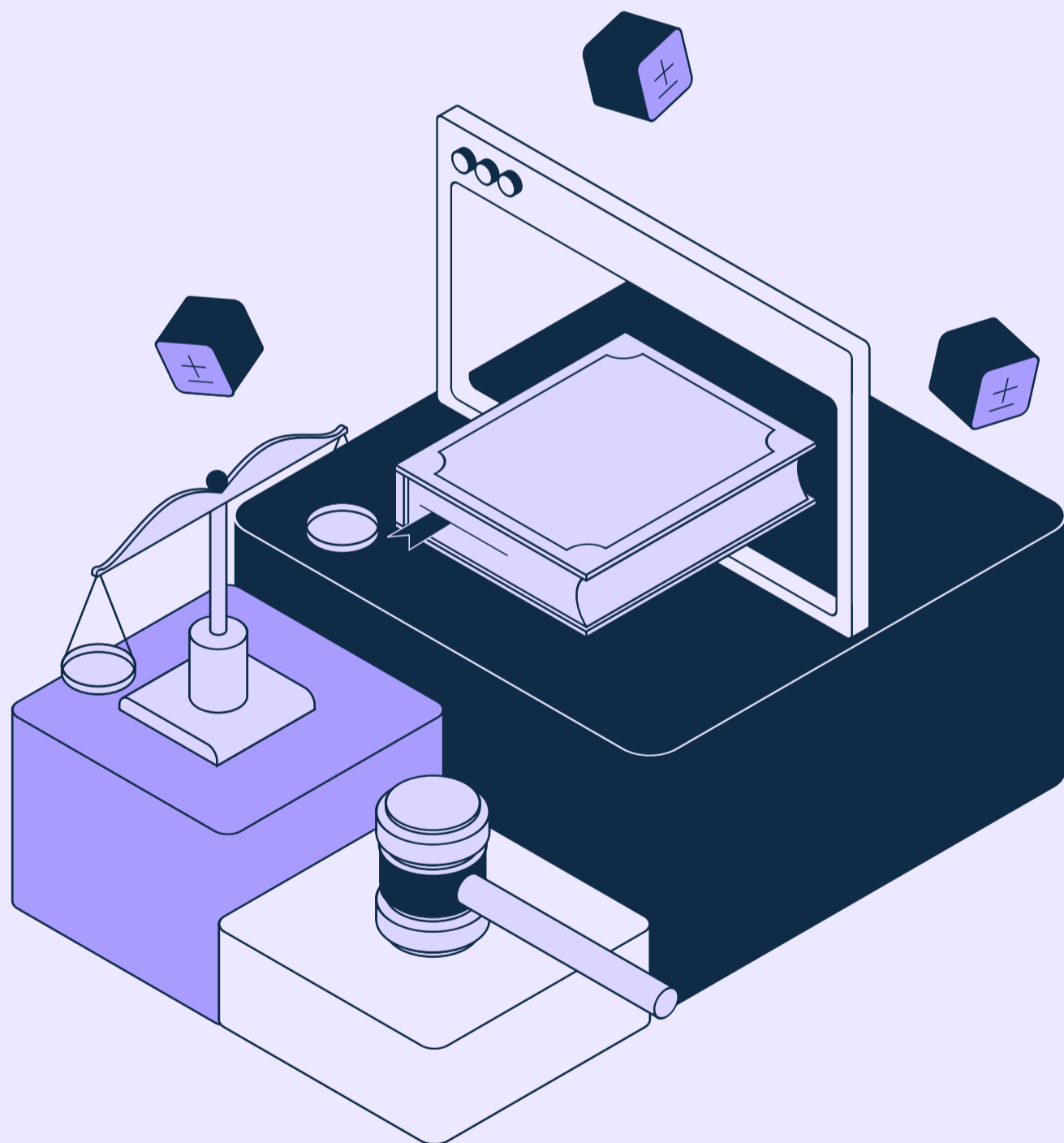
⁹ Forrester Consulting "The Total Economic Impact™ of DeepL," 2023/2024.

¹⁰ 2024年10月 DeepL 法務ユーザー調査

法務部門が業務の効率を上げる技術に多額の投資を行っていることは、当然のことと言えます。そうした技術は反復的な作業を自動化することで時間と労力を節約し、多忙な法務チームの負担を軽減できます。新しい技術に素早く対応できることは、競争優位性の確立にもつながるため、新技術の迅速な導入は戦略のひとつとして考えられるようになってきました。

AIが弁護士に取って代わる可能性は？

その可能性は低いです。AIは弁護士が持つ専門知識の代わりにはなりません。しかし、弁護士がより少ない労力でより多くの仕事をこなせるようサポートすることはできます。今後、AI規制を専門とする弁護士は高い需要が見込まれています。



第2章

法律業界と AIを活用した コミュニケーション

「私たちは皆、弁護士として国際的な業務に携わっています。昔の翻訳は翻訳会社との複雑な作業工程を経て行われるものでした。何度も修正しなくてはならない、誤訳の多い翻訳が戻ってくるまでに2週間かかりました。それが今はボタンを押すだけで瞬時に正しい翻訳が返ってきます。これは非常に素晴らしいことです。かつてあった言葉の壁はなくなり、事業拠点の場所も問題ではなくなりました。AIを活用すれば、誰もがどこからでもデジタル事業を展開できるのです」



Taylor Wessing (DeepLのお客様) パートナー
Axel Frhr. von dem Bussche博士
法学修士 (L.S.E.)、CIPP/E

2.1

法律分野におけるAI翻訳： 難解な用語も容易に多言語化

複雑な法律業務に加え、国際的なクライアントやスタッフと働くことの多い法律事務所では、外国語での業務遂行、国際法の分析、そして文化的なニュアンスを考慮することが求められます。

法律分野でのコミュニケーションは複雑です。法律専門家は異なる法制度や文化にまたがって仕事をしながら、変化し続けるグローバルな問題に対処しなければなりません。効率的に仕事を行うには、継続的な調査を通じて常に最新の情報を得ていることが重要となりますが、言葉の壁がある場合、それは簡単なことではありません。

法律事務所が国際化するにつれ、その顧客基盤も国際化します。そのような状況において、法務専門の翻訳者、翻訳会社、機械翻訳ツールに対するニーズは高まっていますが、そうしたサービスにはそれぞれ課題があります。

法務関連の翻訳における典型的な課題

- × 翻訳者の人材不足に起因する**時間のかかる翻訳作業**
- × 翻訳依頼の概要の作成や翻訳会社との調整による**時間の損失**
- × 特に大量の文書や処分決定、調査内容を翻訳する必要のある法律事務所にとっては、翻訳会社へ支払う**高い費用**
- × 一般的な機械翻訳ツールによる信頼のできない**質の低い翻訳**
- × 法律文書内の**間違いや不正確な記述**によって生じる追加の編集
- × クラウドベースの翻訳ツールを使用する場合に懸念される**データ漏洩のリスク**

出典：2023年にDeepLが実施した顧客調査

2.2

言語AIが業務にもたらす効果

言語に特化したAIは、効率性と顧客満足度の向上を目指す企業にとって最良のソリューションになりつつあります。DeepLは、国際的な法律事務所が直面する言語の課題に対して高精度で迅速かつコスト効率の高いソリューションを提供することができます。

DeepLが実施した顧客調査では、ある大手国際法律事務所において、翻訳会社で通常2～3日かかっていた法務翻訳が、DeepLのAI翻訳を使用することでわずか1～2時間に短縮できたことが判明しました。このような事例を考慮すると、当社の調査に参加した法律専門家の87%がDeepLによって業務のスピードを上げられたと回答したのにも頷けます¹⁰。

翻訳にかかる時間：



当社の調査結果：



次に言語AIの一般的な使用例をご紹介します。

¹⁰ 2024年10月 DeepL法務ユーザー調査

法律文書を瞬時に翻訳

法律の専門知識は貴重です。一方、法律文書の翻訳に費やされる時間は価値の創造に費やす時間であるとは言えません。そこで言語AIを使用すると、重要な法律文書を瞬時に翻訳できるようになります。

言語AIを使用しない場合	言語AIを使用する場合
<p>✕ 手作業による文書翻訳は時間がかかるだけでなく、ミスが発生するリスクを高めます。そうした翻訳工程は貴重な時間や労力を奪うばかりか、重要な法律用語の誤った解釈につながる可能性があります。</p>	<p>✓ 契約書、要約、裁判所提出書類などの法的文書を瞬時に翻訳します。正確で一貫性のある翻訳により時間や労力を節約し、複数言語間の法的正確性を確保できます。</p>

海外チームやクライアントとの円滑なコミュニケーションを実現

海外事務所を設立したり海外の法律事務所と提携したりする場合、使用言語や文化的な背景に関わらず、常に明確なコミュニケーションが不可欠です。

言語AIを使用しない場合	言語AIを使用する場合
<p>✕ 国際的なチームと法的概念について話し合う場合、誤解が多く発生します。さらに外国語での電子メールや提出書類の作成には多大な翻訳作業が必要となるため、案件の進行に遅れが生じやすく、ミスのリスクも高まります。</p>	<p>✓ 法律用語も正確に翻訳できる言語AIを利用すれば、外国語でもメールで明確な助言を提供でき、海外のクライアントとも円滑なコミュニケーションを実現できます。文書を翻訳して現地当局に提出するのも容易になり、国境を越えた法的プロセスの効率化を図れます。</p>



「DeepLを選択したのは、特に翻訳速度と精度の面で優れていたことが理由です。サポートされている言語の数が多いこと、DeepL Writeなどの先進的な取り組みが行われているという事実も背中を押してくれました」




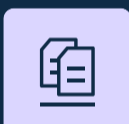


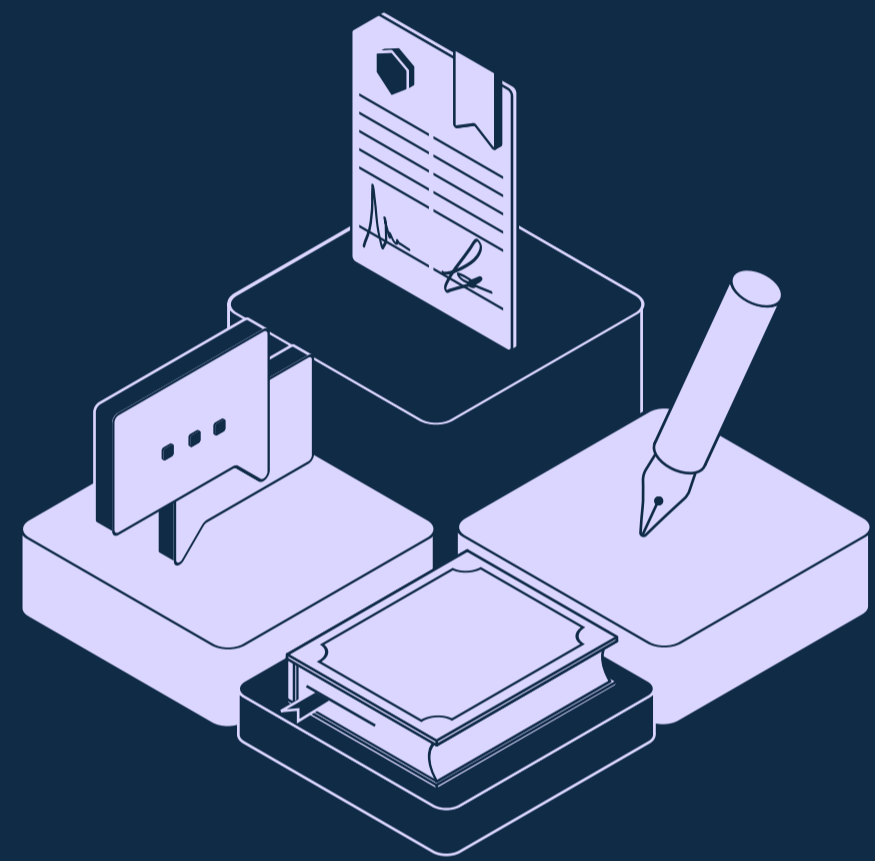
LegalOn Technologies, Inc.
プロダクトマネジメントグループゼネラルマネージャー
山田 泰造氏

LegalOn Technologiesは、DeepL APIを使用して高速かつ高品質の翻訳をクライアントに提供しています。

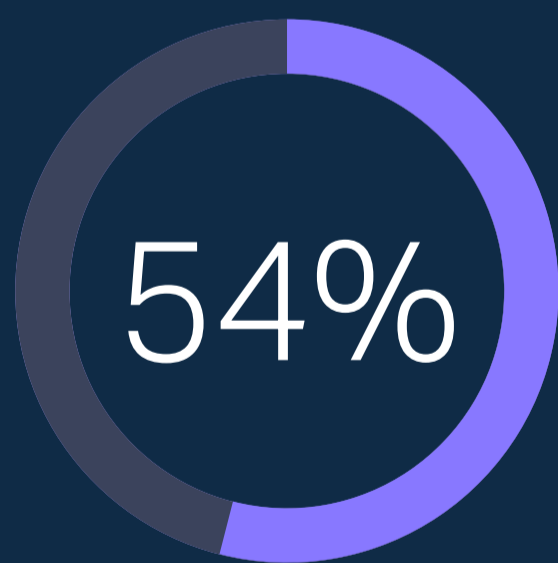


法律の専門家による DeepL翻訳の主な活用例

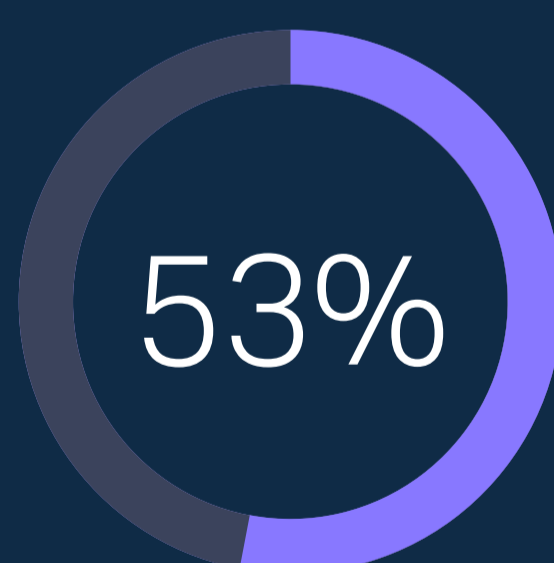
-  外部向けコミュニケーション
-  契約書および法的文書
-  社内コミュニケーション
-  法的文書



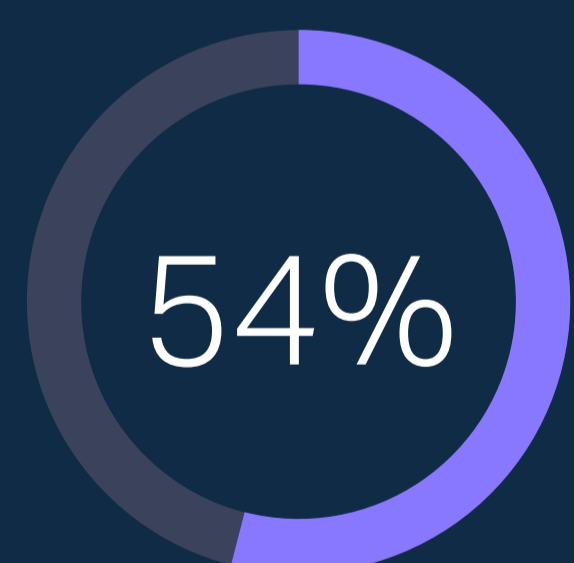
言語AIを利用する主な理由：



文書を1つまたは複数の
言語に翻訳



内容の正確性を確認



文章の質を高め
コミュニケーションを改善

出典：2024年10月 DeepL法務ユーザー調査

言語や国境を越えて事業を拡大

シームレスなコミュニケーションを実現することで、法律事務所は海外のクライアントに対しても優れたサービスをコスト効率よく提供できるようになり、競争の激しいグローバル市場で優位性を確立できます。

言語AIを使用しない場合	言語AIを使用する場合
<p>✕ 異なる言語を話すクライアントへのアドバイスは、コミュニケーションギャップや潜在的な誤解を引き起こす可能性があります。言葉の壁があるために期待される水準のサービスを提供できず、顧客満足度の低下につながる恐れがあります。</p>	<p>✓ さまざまな言語を話すクライアントに円滑に対応できるようになり、コミュニケーションの障壁を取り除き、どの言語でも質の高い法的サービスを提供できます。ニーズに合った的確な多言語サポートを通して顧客満足度を高められます。</p>

海外の法律や管轄区域の調査

世界中で実績を上げるには常に最新の情報を得ることが不可欠ですが、言葉の壁がある中で情報収集は簡単ではありません。

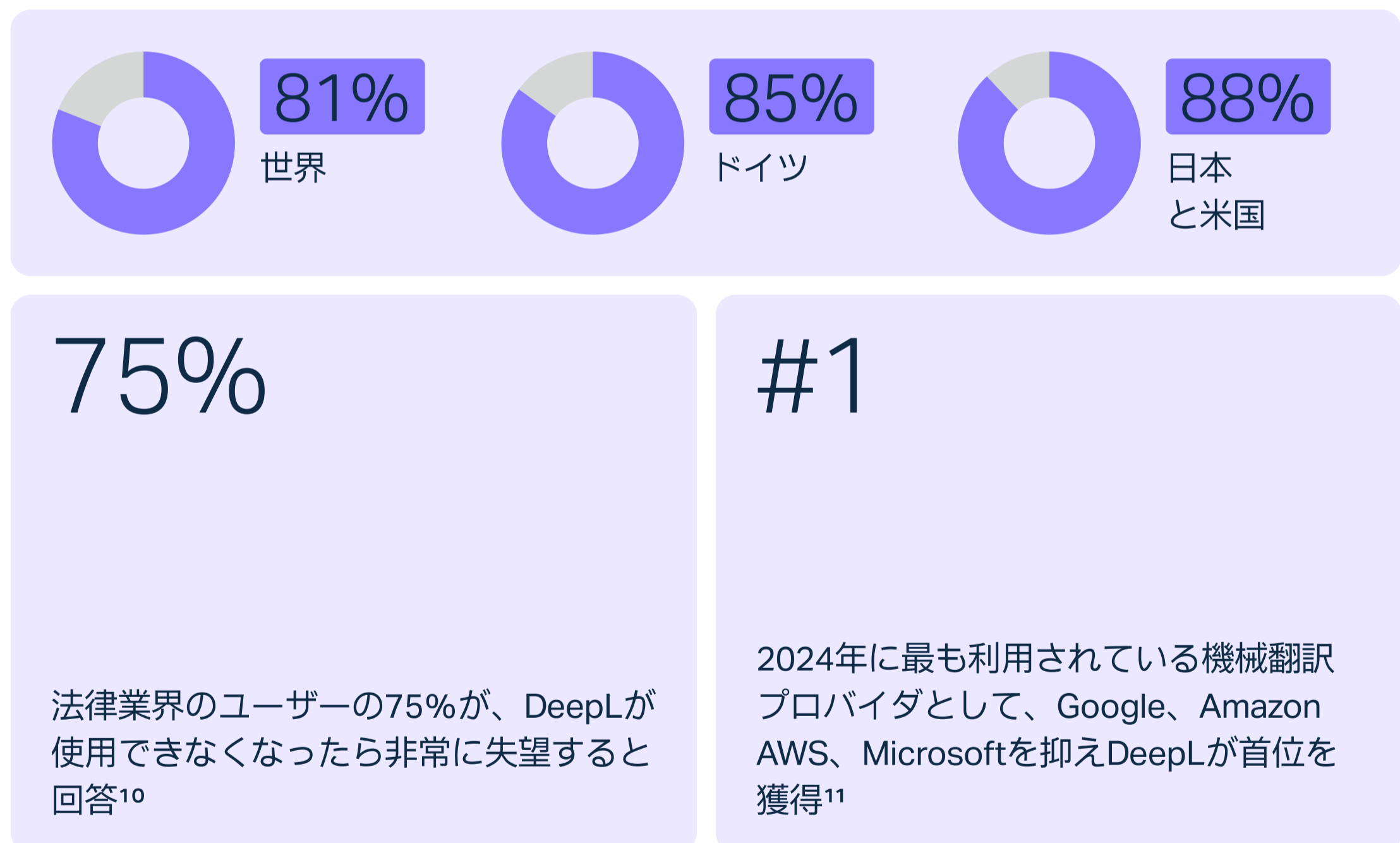
言語AIを使用しない場合	言語AIを使用する場合
<p>✕ 外国の法律や管轄区域を調査することは時間がかかるだけでなく難易度も高いため、重要な法律要件を誤って解釈してしまう危険があります。そのような状況では世界規模で十分に競争することはできません。</p>	<p>✓ 各国の法律要件を素早く把握できるようになります。複雑で難解な国際規制をより迅速に理解し、複数国にわたる調査や新規市場への進出において効率を上げられます。</p>

組織全体で一貫した翻訳とコミュニケーションを確保

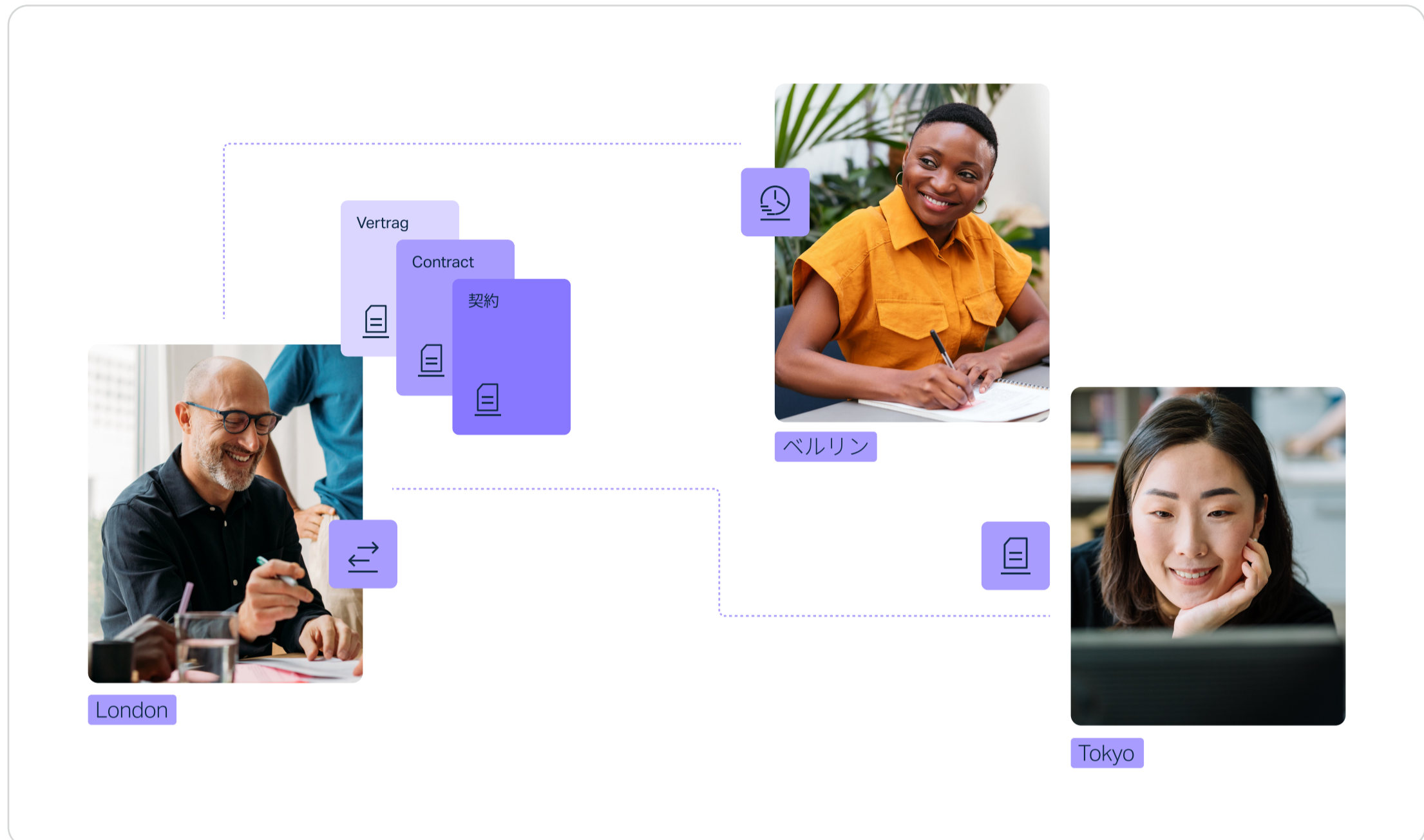
言語AIを導入すると、法務チームは共有の用語集を使用して法律用語の独自データベースを作成・管理できるようになるため、法務翻訳の品質と一貫性を保つことができます。

言語AIを使用しない場合	言語AIを使用する場合
<p>✕ 複数の言語で一貫性を確保するのは労力がかかり、手作業による編集や確認に頼ることになるため、法律用語の不一致やコミュニケーションにおけるリスクが高まります。</p>	<p>✓ カスタマイズ性の高い用語集を作成することで公式コミュニケーションの一貫性を多言語で確保できます。さらに法律用語の統一で編集に要する時間を短縮できます。</p>

法律業界のユーザーはDeepLの翻訳精度の高さを評価



¹¹ DeepL. "The Numbers Are In: Translation Experts Weigh in on Translation Expertise," 2024年10月17日



人の手による翻訳は依然として必要 しかし、AIが翻訳の世界を大きく変革

AI翻訳は人間による翻訳を完全に置き換えることはできません。翻訳会社が提供する翻訳に検証が必要なのと同様に、AIが生成する翻訳にも検証が必要となります。法律事務所は、大規模で質の高い翻訳を提供できるAIツールを選択することで、高い競争力を維持することができます。

DeepLの次世代LLM（大規模言語モデル）による翻訳は、2024年に実施した言語専門家によるブラインドテストで、ChatGPT-4、Google、およびMicrosoftによる翻訳の質を大きく上回りました¹²。DeepLによる翻訳は編集の必要性を大幅に減らし生産性の向上を実現します。その結果、法律事務所は多くの時間とコストを節約できるようになります。また、DeepLの調査では法律業界に従事するユーザーの81%が、DeepLは非常に正確な翻訳を提供すると回答しています¹⁰。

¹² DeepL. "DeepL's next-gen LLM outperforms ChatGPT-4, Google, and Microsoft for translation quality," 2024年7月16日

2.3

言語AIツールの評価

ここでは、法律の専門家が言語AIツールを評価する上で重視すべき点を説明します。



品質と精度

翻訳は人が行ったような自然な訳で、一貫性を保ち、信頼できるものでなければなりません。高品質の翻訳は、異なる文化や属性の相手と信頼関係を構築する上で、大切な基盤となります。



セキュリティとコンプライアンス

言語AIプロバイダは機密データを取り扱います。そのため法律事務所は選択したプロバイダがデータ保護の法規制を遵守し、事務所とクライアント双方のデータ保護要件を満たしているかどうかを確認する必要があります。



文書翻訳

コピー&ペーストの繰り返しを必要とせず、PDFやプレゼンテーションなど翻訳したい文書を手間なく翻訳できる機能も欠かせません。機密文書の翻訳ではセキュリティが特に重要となります。GDPRに準拠したツールや、処理後の文書の削除要件などを確認してください。



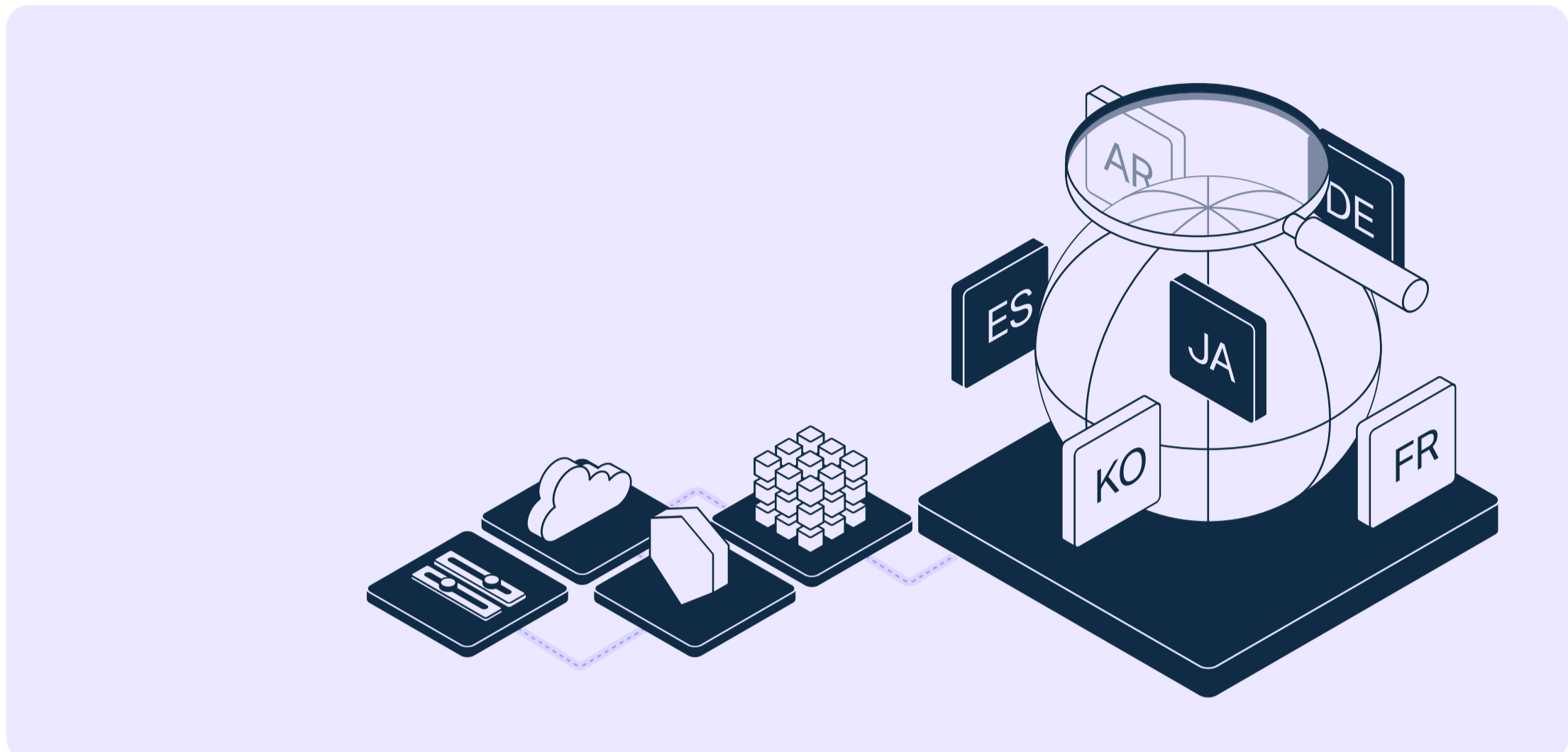
API

アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を使用すると既存のソフトウェアに翻訳ツールをプラグインできるため、すでに使用しているツールやワークフロー内で高品質の翻訳を直接得られます。



連携機能

日常業務で使用するアプリと翻訳ツールを連携できると、ワークフローを中断することなく、文書やメール、コンテンツをシームレスに翻訳できます。



カスタマイズ性

訳文の編集やカスタマイズ性の高い用語集を備えたツールを利用すれば、訳の一貫性を確保できます。用語集には業界固有の用語や企業独自の言い回しに対する適切な訳を登録し、チーム間で共有することができます。



コストモデルと拡張性

あるプラットフォームに投資すべきかどうかを見極める際に確認すべき事項は、初期費用だけではありません。お客様のビジネスとともに成長し、高品質の翻訳を適正な価格で提供できる言語AIサービスプロバイダを選ぶことが重要です。



使いやすさ

従業員へのツールの普及を促進できるよう、簡単なオンボーディングと高度なユーザーサポート機能を備えた、誰でも簡単に使えるツールを選択しましょう。法人アカウントとして登録すると、ライセンス管理を簡素化できます。



潜在的な費用対効果 (ROI)

ベンダーを選ぶ際には、そのベンダーが提供する価値を考慮することが重要です。とはいえ、潜在的な費用対効果 (ROI) を測定するのは容易ではなく、ROIは利用者ごとに大きく異なる場合があります。

ツールを選定する際に問うべき事項

- ✓ AIツールは、すでに使われているシステムと連携できるか？
- ✓ セキュリティとデータ管理はどうなっており、データセンターはどこにあるか？
- ✓ ツールを使い始める際の難易度はどの程度で、ツールの導入に何時間くらい必要か？
- ✓ AIはトレーニング可能か？
- ✓ データを保存しユーザー向けにカスタマイズできるか？

DeepL Proの提供で使用するDeepLのサーバーは、ISO 27001認証を取得したデータセンターで運用されており、DeepL SEによって独占的に管理されています。そのため、DeepLはお客様のデータを完全に管理することができ、データはDeepLのサービスによって安全に処理されます。特定の設定においては、最先端のプロダクトをお客様に提供するため、特にお客様の要件に合った低レイテンシ（遅延時間）を確保するために、サードパーティプロバイダと連携する場合があります。

AIツール選びに役立つ包括的なガイダンスと確認事項のチェックリストは、『言語AIプロバイダの選定ガイド』をご参照ください。

[資料ダウンロード](#)



第3章

言語に特化した 6つの優れたAI技術

3.1

言語に特化した6つの優れたAI技術

ここでは、現在一般的に提供されている言語関連の優れたAI技術とその用途をご紹介します。



1 AI翻訳

- 法律文書を素早く正確に訳すのに利用
- 国際的なチームやクライアントとのコミュニケーションに活用
- グローバル市場で競うために、海外の法規制の調査に利用
- 法的助言を多言語で提供するために使用し、異なる言語を話すクライアントにより良いサービスを提供
- 法務関連の翻訳で一貫性を確保：
カスタマイズ性の高い用語集機能を備えたツールは編集時間の節約につながり、公式なコミュニケーションも一貫性を維持して翻訳可能

2 AIライティング

- 自分が書いた文章をAIの提案に基づき推敲し、伝えるべき事項を適切な表現で、自信を持って伝達
- 文体、トーン、全体的なわかりやすさの調整など、AIによるリアルタイムの校正や推敲を活用
- 手作業による編集に費やす時間を短縮することで、生産性と効率を向上

3 AIを活用した知識管理システム

- 質問ベースの検索で、膨大なデータや文書を選別
- 判例や法令を数秒で検索
- わずかな時間で、直感的かつ詳細に判例を調査

4 AI契約分析と管理

- 契約書のチェックと分析により、リスク、不整合な点、コンプライアンス上の問題を特定
- 契約書の管理を一元化することで、契約書へのアクセスを改善し検索を簡素化
- 契約過程の各段階を把握し、自動通知を活用することで期限への遅れを回避
- 問題を特定し、コンプライアンス違反に注意を促し、(責任などの) 軽減策を提案

5 文書作成の生成AI

- テンプレートから法的文書を生成・構成することで時間を節約し、ミスを削減
- 文書を分析してミスを発見し、潜在的な矛盾に対する注意を喚起
- 文書または契約内の重要な情報を自動的に識別

6 クライアントと対話するチャットボット

- クライアントに対する最初の接点として、特別に訓練されたボットがよくある質問に対応
- 必要な情報や問い合わせ先に顧客を誘導
- 顧客サービスと顧客満足度の向上
- 顧客の待ち時間を削減

DeepLの言語AIツール



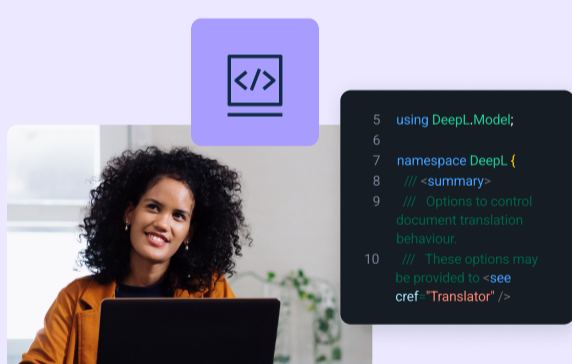
DeepL翻訳

文脈を汲んだ高精度な翻訳を提供します。即時で正確な訳を得られるため事業のグローバル展開で役立てることができます。DeepLの翻訳はその自然な訳で言語の専門家からも高く評価されています。2024年に実施したブラインドテストでは、DeepLの翻訳がGPT-4、Google、Microsoftを上回る頻度で、言語の専門家に選好されました。



DeepL Write

DeepL Writeは、複数の言語でライティングの向上を支援するアシスタントツールです。第二言語、あるいは第一言語であっても、コミュニケーションのニュアンスをつかむのは難しいものです。DeepL Writeは文法の添削にとどまらず、的確な推敲や代案の提示、文体やトーンの調整機能を提供します。



DeepL API

DeepL APIを使用すると、開発者や組織はDeepL翻訳の機能に自社のプラットフォームから直接アクセスできます。簡単に連携できROIも実証されているAPIは、プロダクトの多言語化を大規模で行うチームに最適です。



DeepL Voice

DeepL Voice for Meetingsは、オンライン会議で高品質のリアルタイム翻訳を提供します。同時に複数言語に対応でき、発言と並行して翻訳を画面に表示します。会議への活発な参加、相互理解、情報の共有をこれまでになく楽に実現できます。



「当社には文書案の修正を行う法務向けツールが用意されているため、契約交渉に影響を及ぼす重要なタスクに取り組む時間も確保できています。今こそ仕事の進め方を再考し、AIの新機能を取り入れ、より大きな付加価値を提供するための方法を見出すべきでしょう」



PwCドイツ
グローバル税務・法務マネージドサービスパートナー /
アライアンスリーダー

Klaus Schmidt氏



第4章

要約

4.1

要約



- ✓ AIは法律業界が形成する規制の状況だけでなく、弁護士の日々の業務にも影響を及ぼしています。
- ✓ 世界の多くの企業が、AIへの投資で一定以上のROIを得るには予想以上の時間がかかると認識し始め、投資収益の達成に対し現実的な姿勢を取り始めています。
- ✓ AIを戦略的に活用することで、法律事務所は独自の競争優位性を維持しつつ、変化の激しい環境でクライアントを的確に導けるようになります。
- ✓ 法律専門家とそのクライアントがAIを使用する際の大きな懸念は、コンプライアンスとセキュリティです。ツールの精査と安全性の保証が必須になります。

DeepL

DeepLは、あらゆるビジネスにおける言語の障壁を取り除くことを使命としています。DeepLの言語AIプラットフォームは、228のグローバル市場で、10万社以上の企業、政府機関、その他の組織、および数百万人の個人から信頼を得ており、自然な翻訳と人間が行ったような優れた文章作成を実現しています。企業のセキュリティを念頭に置いて設計され、言語向けに特別にチューニングされたDeepLのAIソリューションを世界中の企業が活用し、ビジネスコミュニケーションの変革、市場の拡大、生産性の向上を実現しています。

CEOのヤロスワフ (ヤレック) ・クテロフスキーによって2017年に設立されたDeepLは、2024年10月現在、1,000人以上の熱心な従業員を擁し、Benchmark、IVP、Index Venturesを含む世界的に有名な投資家の支援を受けています。

[法務向けDeepLの詳細](#)

10万社以上

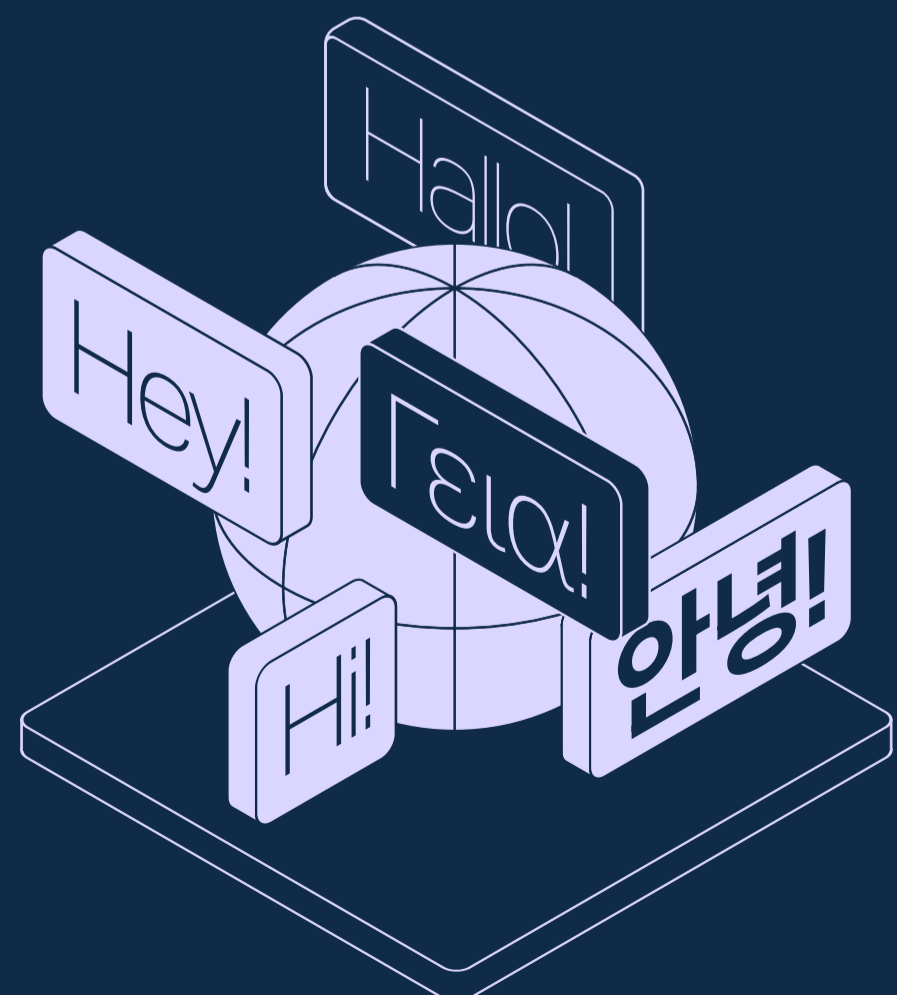
10万社以上の企業や政府機関がDeepLを信頼

228

228のグローバル市場にサービスを提供

1000人以上

世界各地で働く1,000人以上の熱意あふれる従業員





一般的な免責事項：

本ガイドはあくまで手引きであり、特定の目的に対する適合性を保証するものではありません。ツールなどの購買者は各自で精査されることをお勧めします。DeepLは、いかなる場合においても、本ガイドに記載された内容への依拠に起因または関連して生じたいかなる損失または損害についても責任を負いません。

著作権の免責事項：

© DeepL SE 2024. All rights reserved. 本ガイドの著作権はDeepLに帰属します。いかなる当事者も、複製または二次的著作物を作成することは許可されていません。



DeepL SE
Maarweg 165,
50825 Cologne, Germany
info@deepl.com